

第 82 回 経営協議会議事要録

日 時：令和 3 年 6 月 17 日（木） 13：40～15：30

場 所：Microsoft Teams の「経営協議会」チーム（Web 会議）

出席者：櫻井学長、辻田理事（総務・財務・企画担当）、岩崎理事（教育担当）、本家理事（研究・評価・医療担当）、受田理事（地域・国際・広報・IR 担当）、
岩瀬委員、河合委員、川村委員、中島委員、野並委員、原委員、山崎委員

欠席者：宮井理事（ワークライフバランス担当）、執印医学部附属病院長、岡村委員、中澤委員

陪席者：関監事、杉本監事、小山副理事（総務・財務担当）・事務局長、総務部長、財務部長、
研究国際部長、学務部長、医学部・病院事務部長

〔配付資料〕

- 資料 1-1 令和 2 年度決算の概要について
- 1-2 令和 2 年度財務諸表（案）（抜粋）
- 1-3 独立監査人の監査報告書
- 1-4 監事監査報告書
- 資料 2 令和 2 年度資金運用状況について
- 資料 3-1 令和 3 年度学内補正予算の編成について（案）
- 3-2 令和 3 年度国立大学法人運営費交付金算定の考え方について
- 資料 4 令和 3 年度資金管理計画表（変更案）
- 資料 5-1 令和 4 年度概算要求事項（案）一覧（ミッション実現戦略分等）
- 5-2 令和 4 年度施設整備費等要求（案）一覧
- 資料 6-1 令和 2 事業年度に係る業務の実績に関する報告書（案）
- 6-2 令和 2 年度 年度計画進捗状況一覧表（最終）
- 資料 7 高知大学 Grand Design 2030 -地域を支え地域を変えることができる大学へ-
- 資料 8-1 第 4 期中期目標・中期計画（素案）
- 8-2 第 4 期中期目標・中期計画作成スケジュール

議事に先立ち、事務局部課長の異動の紹介が行われた。引き続き、第 81 回経営協議会の議事要録（案）の確認が行われ、異議なく承認された。

〔議題〕

1. 令和 2 年度決算について
事務局長から、資料 1-1～1-4 に基づき、令和 2 年度決算について説明が行われ、審議の結果、承認された。
2. 令和 2 年度資金運用状況について
事務局長から、資料 2 に基づき、令和 2 年度資金運用状況について報告が行われた。
3. 令和 3 年度学内補正予算の編成について
事務局長から、資料 3-1、3-2 に基づき、令和 3 年度学内補正予算の編成について説明が行われ、審議の結果、承認された。

4. 令和3年度資金管理計画の変更について

事務局長から、資料4に基づき、令和3年度資金管理計画の変更について説明が行われ、審議の結果、承認された。

5. 令和4年度概算要求について

事務局長から、資料5-1、5-2に基づき、令和4年度概算要求について説明が行われ、審議の結果、承認された。

なお、今後の加筆修正については学長に一任された。

委員より、二酸化炭素の排出量削減が世界的な課題となっており、高知大学として、ジョンズ・ホプキンス大学が新型コロナウイルス感染者数を集計しているように、森林資源が大気中の二酸化炭素をどの程度固定できるかなどをモニタリングして公表してはどうかとの意見があった。学長から、これまでの知見に基づき、森林が果たす大気中の二酸化炭素固定化等について説明が行われた。

6. 令和2事業年度に係る業務の実績に関する報告書（案）について

本家理事から、資料6-1、6-2に基づき、令和2事業年度に係る業務の実績に関する報告書（案）について概要の説明が行われた後、各担当理事から、理事評価をIVとした計画を中心に詳細な説明が行われ、審議の結果、承認された。

なお、今後の加筆修正については、学長に一任された。

委員より、地域の企業等との連携事例について質問があり、受田理事から、「“IoP (Internet of Plants)” が導く「Next 次世代型施設園芸農業」への進化」事業において、オープンイノベーションの拠点として研究センターを設置する構想について、本家理事から、本学が開設している2件の共同研究講座について説明が行われた。また、委員より、高知大学の教員と高知県内の複数の民間企業が参画している共同研究プロジェクトについて紹介する発言があった。

7. 高知大学 Grand Design 2030 について

学長から、資料7に基づき、高知大学 Grand Design 2030 について詳細な報告が行われた。

委員より、戦略的に縮むことが国家的な課題である2020年代において、大学も伸ばすところと縮むところを峻別する時期にあり、2040年を視野にこれから10年間の大学運営にあたり時間を無駄に使わないようにすべき。また、外部の人にも分かりやすく伝えるため、A4用紙1枚程度に概要をまとめたものを作ったほうがよい。また、地域の意味が概念的にも空間的にも変わってきている。その中で「地域」の意味をもう一度考え直す時期に来ていると思うとの意見があった。

8. 第4期中期目標・中期計画（素案）について

辻田理事から、資料8-1、8-2に基づき第4期中期目標・中期計画（素案）について概要の説明が行われた後、各担当理事から、担当に係る目標及び計画について説明が行われ、審議の結果、承認された。

なお、今後の加筆修正については学長に一任された。また、学外委員で意見等がある場合は、令和3年6月25日までに意見書を提出することの提案が行われ、了承された。

各委員からの主な意見は以下のとおり。

- ・全体的に大事なところをカバーしていると思うが、限られた資源でどの取組みを重点化するかについて、もう少しクリアになればよいと思う。教育・研究とも実施すべきことが増加する中で、学内や限られた地域だけでなく、日本や世界中の知恵をどう活かすかを積極的に考える視点があればよい。

- ・コロナ禍により一般にも急速に AI 技術が普及しはじめており、デジタル教育が遅れている高知県では、表面的にはアプリ等を利用できても、技術を理解して社会実装できるところまで行きつくことができるかを危惧している。高知県内の企業の取組みも SoR (System of Record) にとどまっており、SoE (System of Engagement) や SoI (System of Insight) にはまだまだ至っておらず、H 型人材となれるような大学教育を意識しないと将来が危ないと感じている。

9. その他

- ・学長から、経営協議会の次回開催予定について説明が行われた。